

**横浜市立鴨志田緑小学校**  
**平成29年度 学力向上アクションプラン**

## 1 中期学校経営方針

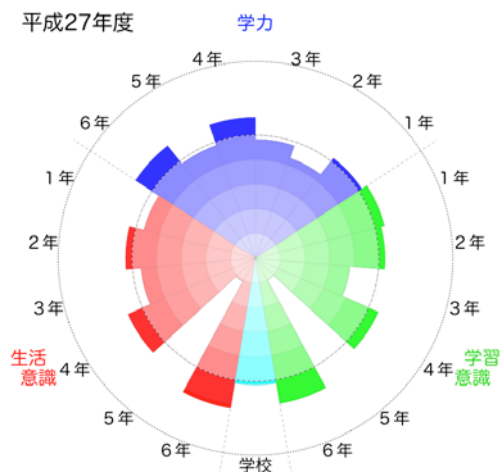
### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○豊かなふれあいを大切にしながら、子ども一人ひとりが心から安心して楽しく過ごせる学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが自分の考えをもち、伝え合う力を高めることを通して、『学び合う楽しさ』を実感できる授業づくりを推進します。</li> <li>・縦割り活動を通して、相手の思いや立場をよく考えて行動し、温かく協力し合える姿勢を育てます。</li> <li>・地域の方々とのふれあいを大切に教育活動を進め、地域の方々の思いを受けとめ感謝する心、ふるさとのまちを愛する心を育てます。</li> <li>・一人ひとりが自分のよさや友だちのよさを認め合い、共に力を合わせて学校生活が送れるよう、丁寧な児童指導、児童支援を推進します。</li> <li>・健康な心身を育むための体力づくりや基本的な生活習慣づくりを推進します。</li> </ul>

### (2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<b>確かな学力 (学習指導)</b>	自分の考えをもち、互いに伝え合うことのできる授業展開を工夫し、子ども自らが見通しをもって主体的に学ぶ姿勢や、思考力・表現力の育成を目指す。	(1) 重点研究の取り組みを通して、自分の考えを伝えるだけでなく、友だちの考えをしっかりと聞くことにより、考えを深め合ったり高め合ったりなど『伝え合う』ことを重視した授業づくりを目指す。 (2) 子どもが「伝えたい」「伝えなければ」「聞きたい」と本気で思える課題設定や「しかけ」「ゆさぶり」を工夫し、学習への意欲向上を図る。
<b>担当</b> 研究推進委員会		

## 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握



## (1) 学力の概要と要因の分析

全体的に横浜市の平均に近い状況であるが、一部、意識・学力ともに満たない学年もある。しかしながら、当該学年の子どもたちも調べたり実験をしたりという活動を伴う学習については、意欲を高め、学力が向上している傾向がある。自分たちが、何についての学習をしているかについて明確なめあてをもち、見通しをもってその解決に取り組み、一人ひとりの子どもが実感をもちながら、心から納得して理解していくことができるような、授業を構築していくことが必要である。

## (2) 教科学習の状況

- 国語科：概ね横浜市平均を上回っているが、「読む力」「話す・聞く力」など、観点によっては課題を抱えている学年もある。学習の中で目的を明確にした言語活動を取り入れ、生活に生かせるよう努めていく必要がある。
- 算数科：学年が上に上がるほど、多くの観点において横浜市平均を上回っている。重点研究科目として取り組んだ成果が表れているとも考えられる。自力で解決する力は向上してきたと考えられるので、今後は相手に伝わるように理論的に表現する力を伸ばしていくことが大切である。
- 社会科：どの学年においても社会的事象についての知識や思考が高い傾向にある。新聞づくりなどの活動により、観察したり資料を活用したりする力も向上している。今後も充実させていきたい。
- 理科：学年によって、意識に大きな開きが見られた教科である。理科的な知識をしっかりと教えることも大切だが、導入の工夫などにより意識を高めることが必要と思われる。

## (3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

学力については全学年を通じて向上がみられる。今後も、学習の規律をしっかりと見直し、学習に集中できる環境づくりを進めることと、一人ひとりにきめ細かい支援をしながら、学習のめあてを明確にした達成感のある学習を積み重ねて、児童の意欲を高めたいと考える。また、基礎基本の力をしっかり定着できるよう、家庭学習との連携も図りながら、一人ひとりが根気よく学習に臨めるような指導の工夫を進めていく。

### 3 平成 29 年度 学年・教科等としての具体的取組

#### 1 学年

- 分からないこと、詳しく知りたいことを尋ねたり、気持ちを表情や態度、言葉で表したりしながら対話するように指導する。
- 自分の経験と結び付けて、感想や考えをもつように指導する。
- 聞き方・伝え方の話型の掲示をして、自分の考えを伝えやすくする。

#### 2 学年

- 大事だと思った点を確認めたり、関連した情報を提供したりしながら話し合うように指導する。
- 聞き方・伝え方の話型の掲示をして、自分の考えを伝えやすくする。
- ペアや小グループなど、学習形態を工夫し、安心して自分の考えを伝えることができるようにする。

#### 3 学年

- 列挙したり、順序を付けたりして考える学習を計画的に位置付ける。
- 正しい用語を使って友達にわかりやすく伝えるための話型の提示。
- 理由や根拠を尋ねたり、まとめたり細くしたりしながら話し合うように指導する。

#### 4 学年

- 反対の意見を出したり、相手の考えを取り入れ自分の考えを述べたりしながら話し合うように指導する。
- 順序を付けたり関連付けたりして考える学習を計画的に位置付ける。
- 小グループで伝え合い、自他の考えの良さを認め合えるような指導の工夫。

#### 5 学年

- 自分の考えを伝えたいと思えるような学習問題との出会い。
- 相手の話を一般化したり、経験を加えて拡張したりしながら話し合うよう指導する。
- 関連付けたり分類・整理したりして考える学習と振り返りを計画的に位置付ける。

#### 6 学年

- 教科等の学習で今まで身に付けた様々な文章を書く力を自覚的に生かすことができるようにするとともに、話し合いをする場面を位置付ける。
- 曖昧な点を明確にしたり、違った視点を打ち出したりしながら話し合うように指導する。
- 関連付けたり、分類・整理・統合したり、多面的に考えたりする学習と振り返りを行う。

#### 個別支援学級

- 個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、話し言葉、表情、仕草、書き言葉等、発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を積極的に活用する場面を位置付ける。
- 子どもの発達段階に応じて、各学年の取組を参考にし、必要な取組を行う。
- 子どもに応じた分かりやすい情報発信をするなど、言語環境の整備を行う。